

事例No.1		
事業名	緊急街路整備工事	事例キーワード 植物移植、水質配慮、清掃活動
事業担当機関	秋田中央道路建設事務所	
事業期間	H13.12.21～H15.3.20	
実施場所	秋田市千秋明徳町	
事業概要	全体事業費	1,806百万円
	工事概要	鋼管矢板工 N=450本、仮橋・作業構台工 一式
	事業の目的	秋田中央道路は秋田市中心部と秋田自動車道及び秋田空港とのアクセス機能の向上や秋田駅東西間の交通渋滞の緩和等を目的として整備している。 本工事は秋田中央道路整備事業におけるお堀部ランプ区間のボックスカルバート築造のための仮設作業構台構築工事である。
環境配慮の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 久保田城址における埋蔵文化財の保全すべき対象を把握するため試掘を実施した。 2. 自然環境に与える影響を最小限とするため、お堀に植生しているハスを移植した（お堀部工事完了後再移植予定）。 3. お堀の水質に与える影響を防ぐため、汚濁防止フェンスを設置したほか、お堀に生息するコイ等動物の生息環境保全のためフェンス外側では曝気を行っている。 4. 汚濁防止フェンス外側の水質に影響が無いことを水質調査により随時確認しながら工事を行った。 5. 騒音、振動防止に配慮し、締切は油圧圧入工法により施工するものとした。 6. 市街化区域内の工事であるため、排出ガス対策型建設機械を使用した。 7. 工事により発生する建設副産物は中間処理施設に運搬し適正に処理した。 8. 秋田市環境部産廃対策室の指示により、泥状の高有機質土及び泥水を産廃として扱い、適正に処分した。 9. 工事の実施にあたり、PR看板の設置等で広報活動を積極的に行った。 10. 清掃活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 旭北開削区間では山王大通りの二丁目橋～山王十字路の区間について毎日1、2名の作業員で清掃を行う予定である。また、月1回は作業員全員で同区間の清掃を行うこととしている。 2) お堀部開削区間ではアトリオン～キャッスルホテルまでの区間及び県立美術館～中土橋交差点の区間について、毎週金曜日に作業員10名程で歩道部両側の清掃を行っている。 3) 駅東開削区間では二ッ屋山崎交差点（JOMO前）～秋田駅東口駅前広場までの区間の歩道両側について、毎週金曜日の朝に作業員全員で清掃を行っている。 	
状況工後の	<ol style="list-style-type: none"> 1. お堀のハスは移植先で保全されている。 2. お堀に生息する動物類は現在も活動を続けており、工事による影響はないと考えられる。 3. 水質は現在も月毎に市環境部に報告しており、工事による水質の影響は無いと報告されている。 4. 騒音、振動、排ガスによる影響は最小限にとどめることができた。 	

図面、写真、説明

ウォーターシャワーの状況
（水中生物への配慮）竿灯大通りのケヤキの移動
（旭北開削区間）

汚濁防止フェンス



移植先のハスの生育状況



工事の広報状況（PR看板）

周辺の清掃活動状況
（旭北開削区間）